

# Ca拮抗薬フォーミュラリー

冠攣縮性狭心症に対し使用している方で、  
減量・中止が必要の場合は、  
循環器内科に相談してください。

## <採用薬を持参した場合>

アムロジピンベシル酸塩 (アムロジン、ノルバスク)

シルニジピン (アテレック)

ベニジピン塩酸塩 (コニール)  
冠攣縮性狭心症に頻用

ニフェジピンCR (アダラートCR)

エホニジピン塩酸塩 (ランデル)

### 循環器用剤

ジルチアゼム塩酸塩徐放カプセル (ヘルベツサーR)

ベラパミル塩酸塩 (ワソラン)

ベプリジル塩酸塩水和物 (ベプリコール)

ニフェジピン徐放剤  
(セバミットRカプセル)  
高血圧時頻用に推奨

★原則、セバミット細粒は  
循環器内科限定使用とする

入院中  
継続

□ : 院内標準薬

## <非採用薬を持参した場合>

アラニジピン (サブレスタ、ベック) 5mg

ニソルジピン (ハイミカード) 5mg

ニトレンジピン (パイロテンシン) 5mg

ニルバジピン (ニバジール) 4mg

バルニジピン塩酸塩 (ヒポカ) 5mg

フェロジピン (スプレンジール) 2.5mg

マニジピン塩酸塩 (カルスロット) 5mg

入院中  
変更

アムロジピンOD  
2.5mg 1錠 分1

アゼルニジピン (カルブロック) 8mg

ニカルジピン塩酸塩 (ペルジピン) 30mg

ニカルジピン塩酸塩徐放剤 (ペルジピンLA) 40mg

入院中  
変更

シルニジピン  
5mg 2錠 分1

ジルチアゼム  
塩酸塩錠  
(ヘルベツサー錠)  
90mg 分3

入院中  
変更

ジルチアゼム  
塩酸塩Rカプセル  
100mg 分1

ニフェジピン  
徐放剤  
(アダラートL)  
20mg 分2

入院中  
変更

セバミットR  
カプセル  
20mg 分2

個人及び病態により効果に差があるため  
上記の半量から倍量を目安に適宜増減